

平成23年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	特異なクラスター活性中心をもつ酸化還元金属酵素の生物無機化学
研究代表者	巽 和行
審査の所見	<p>酵素の活性中心には特異な構造の金属錯体が含まれていることが多い。本研究はそれらの高い活性の原因を化学的に解明するだけでなく、類似の化学構造を持ち、同等の反応性を示す人工化合物を合成することに成功して、実用触媒に至る道筋までを示している点が高く評価された。論文や学会での評価も高く、世界のリーダーとしての役割が期待される。直近の問題となっている環境やエネルギー分野での応用も念頭に置いた展開が期待されるが、準備研究もそのような方向で進められている。また、人工反応中心とアポ酵素との再構成は生化学研究者との共同研究であるが、連携研究者との十分な意思疎通を図り、スムーズに進めて欲しい。以上の理由により、本研究は、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p>